

教科用図書調査報告書

甲府市教科用図書採択審議委員会

1 種目 英語

2 報告概要

教科書名 出版社名	特 徴
NEW HORIZON 東京書籍 教科書サイズ A4版	<p>（1）外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の前半2パートは対話文で構成され、場面や状況に合わせて新出表現を学習し、「Activity」では、他者とのやりとりの題材が示されている。 ・単元の後半では、まとまった量の文章が提示されている。3ラウンド制で理解を深めていく構成になっており、内容に関連した自己表現活動へとつなげている。 ・各単元の終わりには「Unit Activity」が設定され、各単元の「扉」で示されたGoalの達成度を測るための活動が設定されている。 ・「Real Life English」が設定され、コミュニケーションの目的や場面、状況がイメージできる。 <p>（2）内容の程度や学年間の関連が心身の発達に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の構成は、2つの「Part」と「Read and Think」が基本となっている。いずれも英文の読解を通して内容をつかむことを重視した作りとなっている。 ・日本の伝統文化、異文化理解、環境問題などの社会的な話題がどの学年も各所に盛り込まれている。3年生では、平和や人権についても取り上げられ、世界の課題を自分事として考えさせる内容になっている。 ・小中の接続を意識し、丁寧に復習しながら無理なく中学校英語の学習につながるような構成になっている。特に「Sounds and Letters」では、「音と文字の関係」を復習できるように構成されている。 <p>（3）「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数単元のまとめの活動として「Stage Activity」が設定されており、それまでの既習事項と4技能統合型の活動が設定されている。 ・Optional readingとなる「Unit Activity Plus」のページも用意されており、発展的なディベート学習などにつなげられるようになっている。 ・各ページの二次元コードでは、リスニング教材に加えて、本文や単語を確認でき、Key Sentences 解説動画で重要な文法を繰り返し見て学習することができる。

	<p>る。フラッシュカードや付箋の機能もあり、自主的な学習にも活用ができるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5領域の活動がバランスよく配置されている。 ・ 巻末のCAN-DOリストとともに、「Real life English」にもCAN-DOリストとの関連が示されており、系統性を意識しながら学習を積み上げることができるようになっている。 <p>(4) 文字や記号等の表記が適切であり、資料が学習内容の理解に役立ち、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の教科書は、小学校で学習した単語、会話のやりとりなどがはっきりと明記され、既習事項を確認しながら学習を進めることができるようになっている。 ・ 各学年で設定されている学び方コーナーでは、発達段階を考え、教科書の構成に沿った効果的な学習方法を示している。 ・ 発信できるまで使えるようにする語は、定着をめざすために太字で示され、繰り返し提示されている。 ・ 即興力を培うために巻末に帯活動として「Expression List」が掲載されている。
<p>Sunshine 開隆堂</p> <p>教科書サイズ A4版</p>	<p>(1) 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元の「Scenes」では新出表現が2コマ漫画の短い対話形式で示され、「Listen」と「Speak&Write」の活動が設定されており、やりとりしながら表現に慣れ、言語の使用目的や場面、状況が理解しやすくなっている。 ・ 各単元のまとめとして「Review&Retell」が設定されており、内容の振り返りに自分の言葉を足して表現する活動になっている。 ・ いくつかの単元の学習をまとめた活動として「Our Project」が設定されている。モデル文などを聞いたり、読んだりすることから始まり、考えをまとめて書く、最終的には話すことへとつながるステップが踏まれ、系統立てた学習が意識されている。 ・ Small Talkでは、身近な話題について「話す」活動を仕組むことができるので、既習表現を繰り返し使用し、定着を促す設定になっている。 <p>(2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元のはじめに、2コマの漫画や会話などで構成された「Scenes」が設定されているので、興味関心をもちながら、新出表現がどのような目的・場面・状況で使用されるかが視覚的に理解できる。 ・ 中学校での学習に入る前に、小学校で学んだことを確認する学習のページ「Get Ready」が充実しているため、中学校での学習の橋渡しがスムーズにいくような

	<p>構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年の後半から単元の後半に「Review&Retell」が設定されていて、単元の内容のイラストを見て、自分の言葉で伝えるリテリング活動を促進するつくりとなっている。 ・ 異文化理解、国際協力、環境問題など現代的課題を扱う話題がバランスよく配置されている。SDGs との関連が強く意識されており、目次にも関連する SDGs の項目が示されている <p>(3)「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年を通して、4技能における活動のバランスがよい。 ・ すべての単元で“Scenes” “Part 1～3” “Review & Retelling” “Action” と段階を踏んで学習を進められるようになっており、その中に4技能5領域の活動がバランスよく散りばめられている。単元後半の「Part」でのまとまった量の文章の読みとりにつなげている。 ・ 各単元のまとめの「Review&Retell」では、本文内容と関連するテーマについて自分の考えなどをまとめて発信する活動につながっている。 ・ 各単元のはじめのページにその単元で学ぶと「こんな表現ができる」という項目が具体的にイラストとともに明示されており、学習者が単元終了時のGoalのイメージを持ちやすい。 ・ 「Reading」の読み物教材では、「Stage 1, 2, 3」と段階を踏んで内容理解を深め、読む、話す、書く活動へとつなげている。 <p>(4) 文字や記号等の表記が適切であり、資料が学習内容の理解に役立ち、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Coffee Break が新設され、単元での学習を広げ深めたり、英語ならではの表現に触れたりすることができるようになっている。 ・ 目的・場面・状況を大切にした言語活動、相手意識・目的意識を持たせた表現活動、また、即興力の育成に向けた活動などが充実していて、それらが視覚的にも有効な提示がされている。 ・ 題材の予備知識の獲得のための「Tuning in」にある「Information」などのコラムや巻末資料の内容が、生徒が学習意欲を喚起するものになっている。 ・ 巻末のCAN-DO リストで学習の軌跡がわかり、自己学習の手助けとなる。 ・ 書体が3段階になっているので文字学習に抵抗なく取り組むことができる。
<p>NEW CROWN 三省堂 教科書サイズ A4版</p>	<p>(1) 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元内の各パートは聞くことから始まり、話す、読む、書くと順を追って進んでいく。パートの最後には「About Me」や「Think about Yourself」で、自分のことを話したり、書いたりする活動が設定されている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「Take Action!」では、実際の言語使用場面を想定したやりとりが仕組みられている。 ・1年生の最初は、各パートの最初にある「Small Talk」で簡単なやりとりを行うためのトピックが示されている。1年生途中からは「Small Talk Plus+」になり、話すことに慣れさせるための工夫がなされている。 ・「Small Talk Plus+」は、「Round 1, 2, 3」と段階を踏んで発展的に話す活動へとつながっている。 <p>(2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元 (Lesson) の構成は、3つの「Part」と「Goal Activity」が基本となっている。「Part 1, 2」は、各々2つの「Scene」に分かれていて、ストーリーイラストを通して新出表現を学ぶことができる。 ・各パートで扱う対話文の内容は中学生の日常生活に即したものになるよう意識され、内容に関心をもつことができるように実物の写真などが掲載されている。 ・社会的な話題や学校の教育活動と関連ある話題がバランスよく配置されている。3年では、公平さについて考えるなど特徴的な話題設定もある <p>(3) 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに「Goal Activity」が設定されており、学習内容に沿って4技能を統合的に活用する学習が行えるように構成されている。 ・複数単元の学習後に設定されている「Project」では、4技能を統合的に活用できるような表現活動になっていて Step 1, 2, 3と段階を踏んで学習していく構成になっている。 ・二次元コードでは、新出語句や本文を「聞くこと」から始め、音読や基本文の確認、語句を入れ替えて自分のことを表現することができるように段階を踏んで学習できる。 <p>(4) 文字や記号等の表記が適切であり、資料が学習内容の理解に役立ち、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には、やりとりの中で話し手と聞き手で必要な語彙についてまとめられている。 ・「Language Focus」では、単元の文法がまとめられている。 ・巻末にロールプレイシートがあり、やりとりの活動に役立つ。
<p>ONE WORLD 教育出版</p> <p>教科書サイズ AB版</p>	<p>(1) 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活、学校生活における話題を対話文として扱うことで、書くこと、話すことに有用な表現が多く出ている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・言語使用の目的・場面・状況を捉え、理解しやすい工夫がされ、真似して使ってみようと思える表現が多い。何度も教科書に戻る機会が与えられ、スパイラルな学習を生み出すことにつながっている。 ・「Tips for Speaking (Listening Writing Reading)」や「Useful Expression」など、話すこと、書くことなどにつながる表現を確認できるページがある。 <p>(2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元は、3つの「Part」と「Task」「Grammar」で構成されていて、構成に学年間の差がない。 ・学校生活での体験、異文化理解や現代的課題などバランスよく配置されている。SDGsとの関連が強く意識されており、目次にも関連するSDGsの項目が示されている。 ・3年生での進路選択の話題は特徴的である。話題に対してただ「知る」だけでなく、「あなたならどうするか」を考えさせる内容になっている。 ・1年生のLesson 1・2では小学校で学んだ表現がたくさん盛り込まれていて中学校での学習にスムーズに入ることができるような構成になっている。 <p>(3) 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・单元ごとに「Project」が設定されており、統合的な学習ができるようになっている。 ・即興で話すことを目標においた「Activities Plus」が新たに追加され、帯活動としても活用できるように配列されていて、学んだことの定着を促すような活動になっている。 ・各単元の終わりの「Task」では、できるだけ4技能の活動が平均的になるように工夫してある。 <p>(4) 文字や記号等の表記が適切であり、資料が学習内容の理解に役立ち、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まなびリンクには書き込みコーナーの記入シートがあり、書く活動の自主的な学習ができる。また、ペア活動の手本をみることができる。 ・小学校で学んだ語については、振り返りができるように小学校の発信語として囲みがある。 ・巻末にやりとりや作文に活用できる例文が紹介されている。
<p>Here We Go! 光村図書 教科書サイズ AB版</p>	<p>(1) 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Video Call」や「Chat」など現代で触れる機会が多いコミュニケーションツールを場面として扱っているため、リアルな日常生活を想定させ、生徒が言語の使用目的・場面・状況について、実感をともなって理解できる。

- ・対話内容が、生徒の日常とリンクするものが多く、登場人物に親近感をもつことで、何度もくり返して教科書を読むことにつながっている。
- ・各パート、本文内容や文法項目・表現の理解を目的として、「Listen→Speak→Write」の3段階で活動が仕組まれている。いずれの活動も本文との関連が強く見られることで、生徒が何度も本文に戻り、スパイラルに学習できる。
- ・Daily Life では、生活場面を設定したやりとりを聞き、各教材を活用することができるように工夫されている。

(2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。

- ・単元(UNIT)の数は、全ての学年が8つで統一されている。単元(UNIT)の構成(扉、3つのPart、Goal 活動)も同じで、学年間の差がない。
- ・登場人物の背景ストーリーが豊かで、話題が自分のこととしてイメージしやすく、教科書のストーリーに入り込める。会話も日常的なフレーズが多く、身近、等身大というところに重点が置かれている。
- ・防災教育、職場体験、修学旅行など、学校における教育活動と関連ある単元が設定されている。社会的な話題は2年後半から増えており、学年の発達段階にあわせている。
- ・読む活動について、読む機会と量を段階的に増やし、読解力を養う構成になっていて、生徒の発達段階に応じた題材を扱うことで、内容について概要を理解するだけでなく、自分の考えをもたせて表現させる活動へとつなげている。

(3) 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。

- ・各単元が扉から始まり、概要を掴んだあとに段階を踏んで Goal に向かう作りになっており、その中に4技能すべての活動が設定されている。
- ・まとめの活動として「You Can Do it !」が設定されており、統合的な学習ができるようになっている。
- ・短い会話文の後、「Listen→Speak→Write」と段階的に設定されているので毎時間ごとの学びの見通しがつきやすい。
- ・帯教材として「Story Retelling、Active Words、Let's Talk!」があり、各単元で学んだことを活用し、自分の言葉で話す力を伸ばすようになっている。
- ・各単元が「Story Telling」からの導入であり、音声中心の導入から読んだり書いたりする活動へとシフトされている。

(4) 文字や記号等の表記が適切であり、資料が学習内容の理解に役立ち、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。

- ・各単元の巻頭には単元を通しての目標があり、各パートはそれぞれの活動内容が明確になっていて、「聞く」「読む」「話す」(やり取り・発表)「書く」の活動

	<p>のアイコンがわかりやすく表示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で年間を通しての到達目標も明確に提示され、3年間の見通しがもてる。 ・英語の学び方ガイドが充実し、自分で英語学習を進める上での具体的な悩みに対してのアドバイスがなされている。 ・「思考の地図」では、学習者が目的に合わせてアイデアを広げたり、考えを整理したりするためのページとなっている。 ・「聞く活動」「読む活動」「映像を見る活動」のところに[QR]のマークがあり、二次元コードへの導きが記されている。また、同世代の学習者が英語を話す動画などを見ることがもできる。
<p>BLUE SKY 啓林館 教科書サイズ A4版</p>	<p>(1) 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のパートごとに、本文に出てくる文法項目や表現を確認する「Listen・Speak・Write」の活動が設定されており、技能のつながりを意識した三段構成となっている。 ・各単元の後半には「Read/Listen&Think」や「Think&Write/Speak」などの言語活動があり、複数の技能を統合する活動が仕組みられている。 ・活動場面に Tool Box が設けられており、語彙を増やしたり、やりとりの足がかりにししたりしながら、活動が進められる。 <p>(2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達に応じて配慮され、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2、3年生では各単元の「Part」以降に「Read and Think」などが設けられていて、学年の発達段階に合わせた構成となっている。 ・異文化理解、環境、共生、科学技術など、さまざまな話題がバランスよく配置されている。学校の教育活動と関連ある単元も多く、総合的な学習や道徳との関連が図られている。 ・生徒が興味をひくように表紙裏には、各単元に関する写真が掲載され、題材は、社会問題、自然環境、自国の歴史や文化、異文化などの話題が取り入れられている。 <p>(3) 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の単元を通して学習してきたことをまとめて用いる「Project」が設定されており、学習の系統性が意識されている。 ・単元の各 Part には、4技能がちりばめられ、「Enjoy Chatting」で即興的に話す力を伸ばし、やりとりの活動がある「Express yourself」では、学んだ事柄を使い、目的や場面に応じて自分のことを表現できるような構成になっている。 ・単元の始まりで導入として、「聞くこと」があり、質問に答えるQRコードがあ

り、聞く活動が充実している。

- ・ 4 技能を活用する「Let's ~」が設定されている。

(4) 文字や記号等の表記が適切であり、資料が学習内容の理解に役立ち、学習意欲を喚起するよう配慮されているか。

- ・ Word Box は、和訳がイラストで示してある。
- ・ 付録に英語の学び方や Song があり、学習意欲に結びつく。
- ・ 単元の題材に関する「Notes」が掲載されている。